

問1 瀬戸内地域の気候は、年間を通じて温暖で降水量が少ないことが特徴です。このように降水量が少なくなる地形的・気候的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。
2. 日本海を流れる対馬海流の影響を強く受け、湿った空気が上昇する前に山地を越えて乾燥した風が吹き込むため。
3. 標高の高い内陸盆地に位置しており、海からの湿った空気が届く前に周囲の斜面で雨を降らせてしまうため。
4. 冬にシベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、高い山脈にぶつかることなく直接吹き抜けるため。

問2 山口県の工業統計において、製造品出荷額等が約1兆6000億円に達し、輸送用機械や金属製品といった他の部門を大きく引き離して県内で最も高い割合を占めている工業部門はどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 化学工業
2. 鉄鋼業
3. 繊維工業
4. 食料品工業

問3 中国・四国地方にある県の統計を比較した際、面積が日本で最も小さいものの、人口密度が1平方キロメートルあたり500人を超え、この地方で最も高くなっている県はどこですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 香川県
2. 山口県
3. 岡山県
4. 愛媛県

問4 瀬戸内海の沿岸部に位置する工業地域において、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が建設され、重化学工業が発達した主な理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため
2. 大消費地である東京や大阪の間に位置し、高速道路による陸上輸送が容易なため
3. 内陸部に広大な平坦地があり、安価で豊富な工業用水を確保しやすいため
4. かつて周辺に大規模な炭鉱があり、エネルギー源を現地で調達できたため

問5 広島県の農業産出額の構成において、畜産（約23%）や果実（約16%）、米（約13%）を上回り、全体の約4割近くという最も高い割合を占めている品目は何ですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 野菜
2. 果実
3. 畜産
4. 米

問6 四国地方の各県のデータを比較した統計において、県庁所在地の人口が約25万5000人であり、林業産出額が110億円という高い数値を示している県はどこですか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 徳島県
2. 香川県
3. 愛媛県
4. 高知県

問7 本州四国連絡橋の整備が、四国地方の社会や産業に与えた影響を説明した文として、最も適切なものを選択してください。

（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 自動車や鉄道による本州との往来が容易になり、農産物の出荷や観光客の誘致といった経済的な結びつきが強まった。
2. 本州からの生活物資の流入が完全に停止したため、四国地方における自給自足の体制が確立された。
3. 瀬戸内海の海上交通がすべて廃止されたことにより、離島に住む人々の生活利便性が著しく低下した。
4. 高速道路網の整備によって、四国地方から本州へ向かう農産物の輸送コストが増大し、四国農業は衰退した。

問8 瀬戸内地方では降水量が少ないため、農業用水を確保するために古くから「ため池」が多く作られてきました。この気候の要因となっている、瀬戸内海を挟んで北側と南側に位置し、湿った季節風をさえぎっている二つの山地の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 中国山地・四国山地
2. 飛騨山脈・木曾山脈
3. 奥羽山脈・出羽山地
4. 鈴鹿山脈・紀伊山地

問9 厳島神社は平安時代末期に平清盛の厚い信仰を受け、現在のような大規模な社殿が整えられました。この神社に見られる、当時の貴族の邸宅様式を取り入れた建築様式を何といいますか。（2026年 島根県公立入試 類似）

1. 寝殿造
2. 書院造
3. 武家造
4. 校倉造

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。	瀬戸内の気候が乾燥する最大の要因は、二つの山地に挟まれた地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にさえぎられ、それぞれの山脈の風下にあたる瀬戸内地域には乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少なくなります。
問2	<b>答え 1</b> 化学工業	山口県は瀬戸内海沿岸に位置しており、周南市や岩国市などの臨海部に大規模な石油化学コンビナートが形成されています。そのため、県全体の製造品出荷額において化学工業が占める割合が非常に高く、全国的にも上位に位置するという特徴があります。
問3	<b>答え 1</b> 香川県	香川県は全国で最も面積が小さい県ですが、高松市を中心とした平野部に人口が密集しています。分母となる面積が極めて小さいため、算出される人口密度は516人/km <sup>2</sup> と、中国・四国地方の他の県と比較して突出して高い値を示します。これに対し、山口県などは工業規模は大きいものの、山地も多く面積が広いいため、人口密度は香川県ほど高くはなりません。
問4	<b>答え 1</b> 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海に面しており、大型船が接岸しやすい臨海部に工場が立地しています。海外から輸入する鉄鉱石や原油などの重い原料を大量に運び込み、また製品を積み出すのに適した海上交通の利便性を最大限に活用したことで、石油化学コンビナートなどの重化学工業が発展しました。
問5	<b>答え 1</b> 野菜	広島県は広島市などの大消費地を抱えていることから、新鮮さが求められる農産物を供給する近郊農業が発達しています。統計資料によると、農業産出額に占める野菜の割合は38.6%に達しており、畜産や果実、米を抑えて最も主要な生産品目となっているのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 徳島県	四国地方の中で、県庁所在地の人口が約25万人規模であり、なおかつ林業産出額が100億円を超える統計的特徴を持つのは徳島県です。香川県は面積が小さく平地が多いため林業産出額は低くなり、愛媛県や高知県は人口規模や林業の統計数値が異なるため、これらの数値の組み合わせから徳島県を特定することができます。
問7	<b>答え 1</b> 自動車や鉄道による本州との往来が容易になり、農産物の出荷や観光客の誘致といった経済的な結びつきが強まった。	本州四国連絡橋の完成により、以前はフェリーに頼っていた本州への移動時間が大幅に短縮され、天候による欠航の影響も少なくなりました。これにより、四国産の野菜などの農産物を新鮮な状態で本州の消費地に届けることが可能になり、観光客の往来も活発化しました。一方で、地方の購買力が大都市に流れる「ストロー現象」などの新たな課題も発生しています。
問8	<b>答え 1</b> 中国山地・四国山地	瀬戸内地方の少雨の背景には、二つの大きな山地の存在があります。兵庫県や岡山県などの北側に位置するのが中国山地、徳島県や高知県（太平洋側）との境に位置するのが四国山地です。これらが障壁となり、日本海側および太平洋側からの湿った空気が入り込むのを防いでいます。特に香川県などの瀬戸内海沿岸部は、この二つの山地に挟まれているため、全国的に見ても降水量が少ない地域となっています。
問9	<b>答え 1</b> 寝殿造	厳島神社の社殿は、平安時代の貴族の住宅様式である「寝殿造（しんでんづくり）」を神社建築に応用したものです。平清盛が平家一門の氏神として崇敬し、莫大な援助を行ったことで、雅な貴族文化を反映した美しい景観が形作られました。書院造は室町時代以降の武士の住宅様式、校倉造は東大寺正倉院などの倉庫に見られる様式です。